

# 袋井市都市計画審議会

## 書面開催による意見聴取結果

(情報公開用)

開催日 令和2年5月13日(水)



## 第1号報告 「中遠広域都市計画道路の変更・廃止等」に対する意見等

NO.	意見・提言等	市の考え方
1	<p>●●委員</p> <p>芝東西線、諸井北小線、及び浅名五十岡線の変更理由が「コンパクトで～」となっているが、抽象的でわかりにくいと思われる。具体的に「都市マスタープランに基づき、地区の土地利用計画の変更」など、理由が理解できるようにしていただきたい。</p>	<p>上位計画である都市計画マスタープランの考え方や、当初決定の背景を示すなど、具体的な表現に修正します。</p>

## 第2号報告 「ふくろいの“みち”に関する基本的な方針（案）」に対する意見等

NO.	意見・提言等	市の考え方
1	<p>●●委員</p> <p>都市計画マスタープランに「防災上重要なネットワーク」が軸（14頁）として想定されているが、道路計画にも反映されるべきと考える。緊急輸送路・広域避難路などが該当するのではないかと。</p>	<p>静岡県や本市が指定する緊急輸送路、また浜岡地域原子力災害広域避難計画に基づく広域避難路につきましては、災害時の迅速な救援・救急と円滑な復旧・復興を支える“みち”として、道路基本計画図（17頁）に位置づけております。</p>
2	<p>●●委員</p> <p>全体像について、都市の骨格である道路ネットワークの再編という大きな構想であり良い構想だと思われる。基本方針2（26頁から）の詳細のイメージ（写真）が、日本全国どこでも見られるものであり、かつ少し古いものなのが気になる。</p> <p>また、居酒屋やオープンカフェなど、商業に頼るだけではない袋井市らしい“みち”のプレイスメイキングを検討していかないと日本中どこに行っても同じ風景になってしまう。なお、導入エリアの検討も合わせて行う必要があると思われる。</p>	<p>本方針（基本方針2）では、これまで整備した“みち”の新たな機能・価値の創出について、これからの方向性・考え方を示させていただきました。</p> <p>具体的な実施方法につきましては、今後、企業・団体・地域等と連携しながら、袋井という場の個性を活かした中で、人々が憩い・集う場として“にぎわい”・“活気”・“魅力”の創出に向けて活用方法や実施エリアを検討していきたいと考えています。</p>
3	<p>●●委員</p>	

	<p>公共交通ネットワーク（29頁）では、高齢者の移動問題を解決していく必要があり道路整備と同等に整備していかなければならない問題であると思う。研究だけでなく、導入に向けた検討を行い、無人運転も実用化に向けている昨今、先行事例を作るという方針が良いと思われる。</p>	<p>公共交通ネットワークは、まちづくりを進めるうえで関係性が深く、非常に重要なものと考えています。</p> <p>今後、まちづくりと連携した中で、地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿を示す「公共交通網形成計画」の策定を予定しています。頂いたご意見を参考に策定に取り組んでまいります。</p>
4	<p>●●委員</p> <p>23頁の照明灯は、器具の変更ではなく、照明計画も合わせて行い、あかりのまちづくりを導入したらどうか。</p>	<p>街灯等の道路構造物の更新の際には、単に更新するだけでなく、まちの雰囲気や資源と調和した計画を立案したうえで、実施したいと考えております。</p>

以上のおり意見・提言等が提出され、これに対し市の考え方を示し都市計画審議会（書面開催）を閉会した。